

# 第36回サトウキビ試験成績発表会次第

平成21年9月10日  
沖縄蔗作研究協会

## ごあいさつ (09:30~10:00)

- |                   |      |
|-------------------|------|
| (1) 沖縄蔗作研究協会会長    | 村山盛一 |
| (2) 沖縄総合事務局農林水産部長 | 高柳充宏 |
| (3) 沖縄県農林水産部長     | 比嘉俊昭 |

## I. 一般発表 (発表10分・質問5分)

### 午前の部 (10:00~11:00)

座長：仲宗根 盛和 (沖縄県農業研究センター所長)

(頁)

サトウキビ栽培における干ばつ影響評価のための土壌水分センサーの利用

服部太一郎<sup>1</sup>・寺内方克<sup>1</sup>・寺島義文<sup>1</sup>・境垣内岳雄<sup>1</sup>・上野敬一郎<sup>2</sup>

藤田英介<sup>2</sup>・藤崎成博<sup>2</sup>・山口悟<sup>3</sup>・友利研一<sup>3</sup>・崎山澄寿<sup>3</sup>

(<sup>1</sup>九州沖縄農業研究センター, <sup>2</sup>鹿児島県農業開発総合センター, <sup>3</sup>沖縄県農業研究センター)

(2) 石炭灰加工品施用がサトウキビの収量・品質に及ぼす影響

田中洋貴・大城篤・照屋寛由・大城千秋<sup>1</sup>・浅川尊美<sup>2</sup>・木村義一<sup>3</sup>・仲村伸次・仲里富雄

(沖縄県農業研究センター名護支所,<sup>1</sup>沖縄電力株式会社,

<sup>2</sup>カワサキプラントシステムズ株式会社,<sup>3</sup>物産エコリサイクル株式会社)

(3) 低収・高糖のさとうきびの原因探索とその改善

その1 施肥と品質・収量

A5農家 島袋正樹

(4) 南部地域におけるサトウキビ圃場を中心とした難防除雑草(ヤブガラシ)の防除技術の開発

比屋根真一・藤山正康<sup>1</sup>・與儀喜代政・友利研一・出花幸之介・山口悟・高江洲賢文

(沖縄県農研センター・<sup>1</sup>日産化学工業株式会社)

### 午前の部 (11:00~12:00)

(5) サトウキビ新品種「Ni27」の宮古における特性について

\*下地格・宮城克浩・前田剛希 (沖縄県農業研究センター宮古島支所)

研究協力：九州沖縄農業研究センター、沖縄製糖(株)、宮古製糖(株)

(6) 大東島向けのサトウキビ新品種候補「RK96-6049」と「RK97-7020」の特性

内藤孝、伊禮信、與那覇至、佐渡山安常、宮城克浩、名嘉真繁<sup>1</sup>、出花幸之介

(沖縄県農業研究センター、アグリ南大東<sup>1</sup>)

(7) 糖生産力が優れる高バイオマス量サトウキビ有望系統の開発

\*寺島義文<sup>1</sup>、寺内方克<sup>1</sup>、境垣内岳雄<sup>1</sup>、服部太一郎<sup>1</sup>、松岡誠<sup>1</sup>、杉本明<sup>2</sup>

<sup>1</sup>九州沖縄農業研究センター、<sup>2</sup>JIRCAS 熱帯・島嶼研究拠点

午後の部 (13:00~14:00)

座長：仲盛 広明 (沖縄県農業研究センター 作物環境総括)

- (8) プリンスベイト剤処理がサトウキビ株出収量に与える影響  
名嘉真 繁  
(アグリサポート南大東)
- (9) 南大東島および久米島における Fipronil ベイト剤の施用効果について  
川満芳信・河崎俊一郎・福澤康典・諏訪竜一・富永淳・上野正実  
(琉球大学農学部)
- (10) 沖縄 県下におけるわい化病の実態調査  
牛尾 裕、牧野 正人、石田光之 (種苗管理センター沖縄農場)
- (11) サトウキビわい化病における品種抵抗性評価の試み  
與那覇至・出花幸之介・内藤孝・伊禮信・牛尾裕<sup>1)</sup>  
(県農研センター、種苗管理センター)

午後の部 (14:00~14:45)

- (12) ケブカアカチャコガネの性フェロモンの開発  
新垣則雄<sup>1)</sup>、永山敦士<sup>1)</sup>、外間康洋<sup>1)</sup>、佐渡山安常<sup>1)</sup>、岸田光史<sup>1)</sup>、親富祖明<sup>1)</sup>、  
小林彩<sup>1)</sup>、太郎良和彦<sup>1)</sup>、上里卓己<sup>2)</sup>、宮城聡子<sup>2)</sup>、若村定男<sup>3)</sup>、安居拓恵<sup>3)</sup>、  
秋野順治<sup>3)</sup>、深谷緑<sup>3)</sup>、安田哲也<sup>4)</sup>、田中誠二<sup>3)</sup>、前田妙子<sup>3)</sup>  
<sup>1)</sup> 沖縄県農業研究センター <sup>2)</sup> 沖縄県農業研究センター宮古島支所  
<sup>3)</sup> (独) 農業資源生物研究所 <sup>4)</sup> (独) 中央農業研究所)
- (13) 品質評価 NIR スペクトルデータの利用システムの構築に向けて  
上野正実・平良英三・川満芳信 (琉球大学農学部)
- (14) NIR による製糖プロセス管理に関する基礎的研究  
上野正実・\*平良英三・知念優希 (琉球大)

## Ⅱ シンポジウム(15:00～17:30)

### テーマ

#### 『先島地域における持続的高単収サトウキビ株出し生産体系の展開』

|   | (頁)     |
|---|---------|
| 座長：趣旨説明(5分)<br>竹ノ内 昭一(沖縄県糖業農産課さとうきび班長)  | 1       |
| 1. 基調講演：沖縄県の各地域における株だし栽培の現状と問題点(20分)<br>伊志嶺 正人(沖縄県営農支援課広域技術班主幹)                     | 2--1～6  |
| 2. 基調講演：サトウキビ土壌害虫防除技術の現状と今後の課題(20分)<br>新垣則雄(沖縄県研究農業センター 病虫管理技術開発班)                  | 3 - 1~2 |
| 3. 講演課題：宮古における株出しによる生産向上にむけて<br>一株だし安定多収栽培技術による生産向上(15分)<br>宮城 克浩(沖縄県農業研究センター宮古島支所) | 4 - 1~3 |
| 4. 講演課題：土壌肥料の観点から(15分)<br>久場 峰子(沖縄県農業研究センター土壌環境班)                                   | 5 - 1~5 |
| 5. 講演課題：収穫後の株出し管理作業・農業機械の観点から(15分)<br>赤地 徹(沖縄県農業研究センター研究企画班)                        | 6 - 1~4 |
| 6. 総合討議   | (40分)   |
| 4. まとめ・・・座長   | (5分)    |

### 付録：

平成20年度 第35回発表会シンポジウムのまとめ  
『沖縄本島における株出管理作業の実態と  
単収向上に向けた株出管理のあり方』

付録1～32ページ